

日本と南アジアの交流発展に貢献し、
今後の日本の南アジア戦略を専門的に考え
活動に取り組んでいます。

日本と南アジアの新時代～「グローバル」視点による岐阜からの発信～

日時：2022年11月19日(土)

開催方法：会場(最大100人)・オンライン(Zoom、最大200人)のハイブリッド開催

会場：岐阜女子大学 文化情報研究センター 6階大会議室

〒500-8813 岐阜県岐阜市明德町10番地 杉山ビル 6階

アクセス <https://gijodai.jp/circ/access.html>



☆ 13:00～16:30 公開シンポジウム

Zoom ミーティング ID : 952 2385 6378 パスコード : 967803



タイムテーブル

■ 13:00～15:00 (12:40 開場)

第1部 「インド太平洋戦略を多角的に読み解く～日本・南アジア・太平洋地域～」

- ・挨拶 学校法人華陽学園(岐阜女子大学) 理事長 杉山博文
- ・趣旨説明 ペマ・ギャルポ(岐阜女子大学南アジア研究センター長、名誉教授)
- ・基調講演 堀本武功(岐阜女子大学 特別客員教授) 「インド太平洋戦略と南アジアー日本の対応」
- ・発表1 小暮哲夫(朝日新聞 Globe 副編集長) 「オーストラリアから見た「印豪連携」の可能性」
- ・発表2 笠井亮平(岐阜女子大学 特別客員准教授) 「インドにとってのインド太平洋とクアッド」
- ・コメント 河辺一郎(愛知大学国際中国学研究センター 教授)
- ・質疑応答、討議

< 休憩 >

■ 15:10～16:30

第2部 「岐阜の世界遺産からの発信～グローバルの視点から～」

- ・趣旨説明 福永正明(岐阜女子大学南アジア研究センター 特別客員教授)
- ・発表1 宮丸和之(岐阜県大野郡白川村 教育長) 「白川郷は今、どうなっているか」
- ・発表2 ラーナー・ピー・ビー・スィンフ(岐阜女子大学 特別客員教授)
「白川郷の素晴らしさと発信力～南アジアの視点から～」
(コーディネーター：ケイト・ストロネル 南アジア研究センター 特別研究員)
- ・発表3 加藤 英彦(岐阜県商工労働部観光国際局観光誘客推進課 観光誘客企画監)
「岐阜県によるサステイナブル・ツーリズムの推進」
- ・コメント 阿部健一(人間文化研究機構総合地球環境学研究所 教授)
- ・質疑応答、討議

※ 一般公開シンポジウムはどなたでも無料でご参加いただけます。

事前の申し込みは必要ありません。会場参加の方は直接お出かけ下さい。

Zoomの方は開始時間にご参加下さい。カメラ・マイクはオフ設定となります。

主催：岐阜女子大学南アジア研究センター、地域研究コンソーシアム(JCAS)

後援：公益財団法人岐阜県国際交流センター、岐阜県大野郡白川村教育委員会

外務省認定：「2022年日本・南西アジア交流年」事業

